

緊急・米づくり情報

◎ 葉色が淡い圃場では直ちに追肥を検討！

出穂15日前頃 「はえぬき」「雪若丸」

葉色が淡い場合 (SPAD 値で36以下)



穂肥を施用済み、または全量基肥栽培の圃場でも

出穂15日前頃(7/17頃)に窒素成分で 1.0kg/10a の追肥を検討

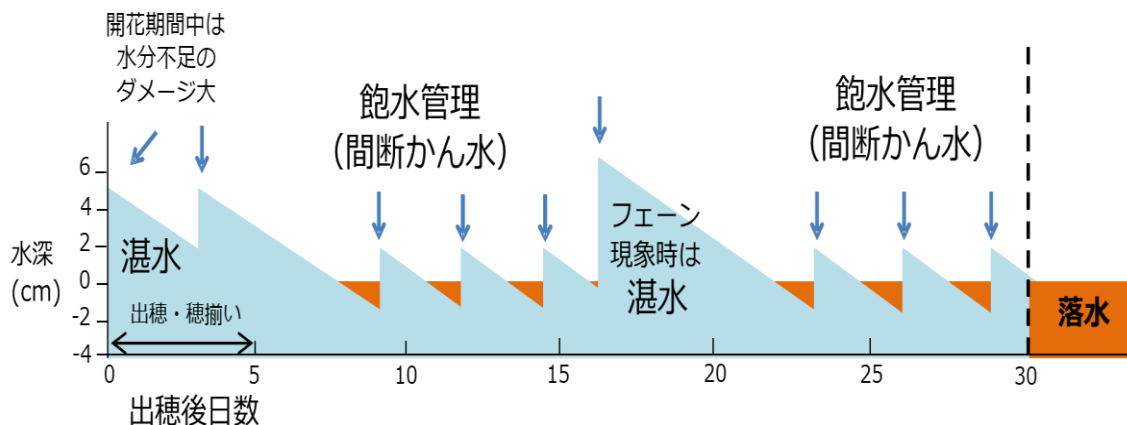
※但し、特別栽培の場合は化学肥料由来窒素量の上限に留意

◎ 光合成促進や根の伸長促成が期待できる ケイ酸資材(水口施用等)を積極的に施用！

◎ 高温年は、「飽水管理」または「通常より浅め、 こまめな間断かん水」を実施し、根の活力維持！

◎ 出穂を確認したら穂揃期まで湛水を維持！

【高温時の出穂後の水管理】 ※通常年より浅め、こまめな管理間断かん水！



やまがた温暖化対応米づくり日本一運動村山地域本部

(村山総合支庁農業技術普及課 TEL : 023-621-8295)